

平成23年度
祝鶴田町成人式



未来に羽ばたけ 町の若人たち

1月3日(火)、平成24年になり県内で一番早い「平成23年度鶴田町成人式」が町公民館で挙行されました。

今年度、鶴田町で新成人となったのは男性75人、女性66人の141人。そのうち128人が、この日の式典に参加しました。

開式までだいぶ早い時間から公民館に次々と集う新成人たちは、色とりどりの華やかな着物姿や凛々しいスーツ姿に少し照れながら、家族と記念写真を撮ったり、数年ぶりに再会する友人たちとの近況報告や思い出話に花を咲かせるなど、無事にこの日を迎えられる喜びを分かち合っていました。

新成人たちが集まり賑やかに始まった式典は、参加者全員での国歌ならびに町民歌の斉唱、町民憲章の朗読へと続きました。

中野町長は、式辞で新成人を祝福するとともに、「昨年の東日本大震災から復興を導くのは皆さんの若い力です。鶴田町民として誇りを持ち、豊かな想像力とあふれる行動力で、国と町の発展への大いなる活躍を期待します。」と新成人へエールを送り、来賓代表の相川青森県議会副議長と出町町議会議長も、それぞれの思いを込めた祝辞を新成人へ贈りました。

多くの祝福の言葉を受けた新成人を代表して、マロン・アジイス航太さんと泉桃沙さんが家族や恩師、友人が見守る会場の壇上で「今ま

新成人たちに 聞きました



「成人代表謝辞をしたマロン・アジイス航太さん

謝辞は本当に緊張しました。昨年の県民駅伝で、町の1区を走らせてもらったけどそのとき以上に緊張したかな。桃沙さんにだいぶ助けられました。中学の時からずっと陸上を続けて、今は平成国際大学で800mと1500mを専門にやっています。なんとか全国で名前が知られる選手になるよう頑張ります。



記念品のつくりの会場で三橋こずえさん

今、五所川原にある派遣会社に勤務しています。平凡かもしれませんが、将来はママになって幸せな家庭を築きたいです。成人式で友人と久々に会えて嬉しかったです。



③



②



①

- ①式辞で新成人にエールを送る中野町長
- ②成人代表謝辞を述べたマロンアジイス航太さんと泉桃沙さん
- ③新成人一人一人に中野町長から記念品が手渡される
- ④成人の集い・恩師からのメッセージでピアノ演奏を披露した福井崇史さん
- ⑤記念撮影・リラックスした表情を見せる新成人たち
- ⑥成人の集い・中学時代の映像に思わず笑みがこぼれる
- ⑦将来への希望を胸に参加者全員で乾杯
- ⑧中野町長から贈られた記念の色紙



⑤



④

太陽の輝く限り
希望もまた輝くの
無限の能力を
秘めている君たち
如何なる試練にも負けず
望みは大きく
世界に羽ばたけ力強く

鶴田町長

⑧



⑦



⑥

で成長できたことに感謝し、この日を契機に社会の一員として与えられた権利と義務、そして成人として責任の重さを自覚し、町を愛し、情熱と行動力で諸先輩方の期待に応えられるよう頑張ります。」と謝辞を述べ、気持ちを伝えました。

厳かな式典が終わり、第2部として開催された「成人の集い」では、新成人たちが実行委員となって進行され、町からの記念品贈呈、招待した小学時代の恩師による乾杯、出席できなかった恩師からのメッセージ、中学時代のスライドの上映などが行われ、仲間たちが進行する成人の集いに会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていました。

式の最後は、会場を体育センターに移し、参加者全員での記念撮影、そして成人記念の「つるた焼」の陶器づくりが行われ、新成人たちは自らの二十歳の想いを陶器に描きつつつづいていました。

すでに就職して社会人として活躍している人、夢に向って勉学に励んでいる人、それぞれに不安や悩みを抱え、これからも多くの困難が訪れるかもしれない。それでもこの日、大きな扉を開けた若者たちは、社会への責任を感じ、喜びと希望に瞳を輝かせ、今まで育ててくれた家族や恩師、地域の方々への感謝の気持ちを胸に、未来に向かって大きく羽ばたきました。

成人の集いで司会をした
長内健太郎さん
鶴田消防署の消防士をやっています。町民の方々に助けるこの仕事にやりがいと誇りを持っています。友人たちも頑張っているのでもわたしも町のために頑張ります。



成人の集いで司会をした
奈良彩乃さん
弘前大学医学部保健学科で、放射線の医学療法を学んでいます。将来放射線治療で少しでもガン患者のお役に立てればと思っています。



鶴田町社会福祉協議会に勤務する
齋藤宏太さん
今の仕事を3年続けると「介護福祉士」の受験資格がとれます。今は頑張つて「介護福祉士」になつて町の人たちの役に立ちたいです。

